

道標 ~ミチシルベ~

1月号 2026.1.8



あけましておめでとうございます



輝かしい朝の光の中、2026年が幕を開けました。新しい年を迎え、新学期そして来年度に向けて、子どもたちも希望を新たにしていることと思います。ご家庭ではどんなお正月を過ごされたでしょうか。ゆっくりと家族での会話を楽しんだり、初詣に出かけたり、新しいことに挑戦したりしたことなど、子どもたちからの話を楽しみにしています。

早いもので、5年生として過ごす時間も残すところ3か月となりました。「5年生の3学期」は、「6年生の0学期」。6年生になった時、自分のよさや頑張れることを発揮するために準備をする大切な時期です。短い3か月間ですが、6年生を送る会や卒業式の準備など、5年生が学校の中心となって活動することが多くあります。6年生から川東小のリーダーとしてのバトンを受け継ぎ、最高学年としての自覚がもてるように支援していきます。

本年も、これまでと変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



ミシンを使ってエプロンづくり

11月の後半から、家庭科の学習でミシンを使ったエプロンづくりに取り組んでいます。なかなか使う機会のないミシンを初めて扱うため、安全面にも気を付けながら縫う練習を行いました。自分で選んだ布を使って、「はやく完成させたい」「家でも使えるかな」とわくわくしながら丁寧に縫い進めていました。友だち同士で教え合いながら協力して取り組む温かい姿も見られました。

完成したエプロンは、6年生になってから給食の時間に使用していく予定です。自分の手で作り上げたエプロンを身に付けて活動することで、より一層愛着をもって大切に使うことができると思います。



収穫したお米を脱穀・もみすり

1学期から続いているお米作りも最終段階となりました。12月19日（金）は、収穫したお米を脱穀し、もみすりの作業を地域の方と一緒に行いました。

脱穀作業では、地域の方から教えてもらったコツをつかむと作業のスピードが上がり、夢中になってたくさんのもみをとることができました。一粒の大事さを実感しながら脱穀することができました。

もみすりの作業では、ソフトボールと、すり鉢を使って行いました。道具の登場から「ボールを使うんだ」と興味津々なようでした。

手作業だけでなく、足踏み式の脱穀の機械でお米の脱穀をしたり、機械を使ってもみすりをしたりして、手作業よりも何倍も早く作業ができることに気づき、農家さんの苦労や、機械化された意味を考えることができました。



元気に冬を乗り切ろう♪

冬も本番を迎え、冷え込みが厳しくなるとともに朝晩と日中の温度差も大きい季節となりました。気温の変化で体調を崩しやすい時期でもあります。また、香川県内でインフルエンザが流行しています。十分な睡眠、バランスのとれた食事、体力作りなど、各自でできる感染予防や早目の対策にご協力をお願いします。

- ② 「早寝・早起き・朝ごはん」規則正しい生活を
 - ② 手洗い、消毒の徹底を → 清潔なハンカチを、いつでもポケットに
 - ③ 寒さに合わせて調節できる服装で
- マスク、手洗い、消毒など基本的な感染予防対策は引き続き徹底して行いましょう。

